

いずもぎき

議会だより

第103号
2019 平成31年 4月23日



3月定例会

もくじ

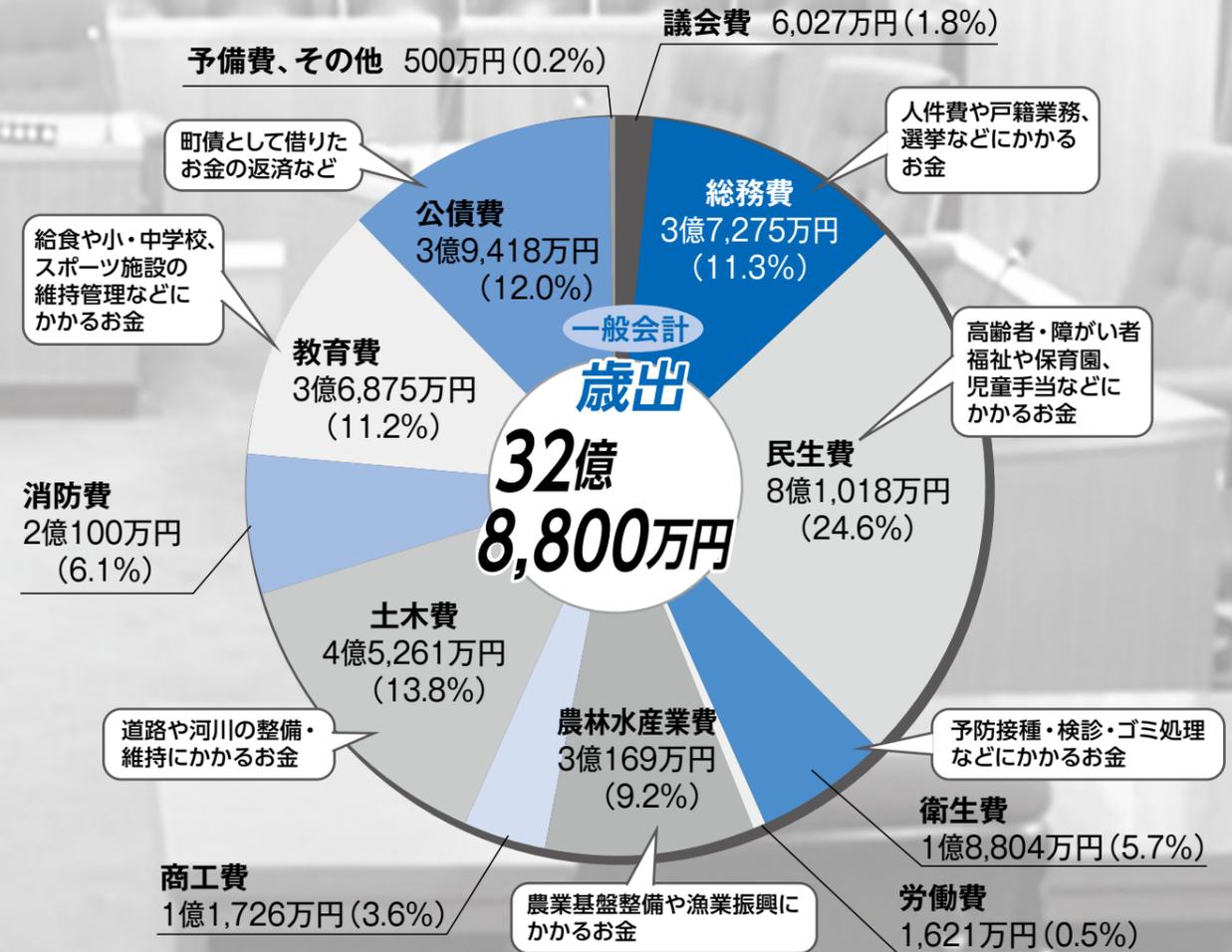
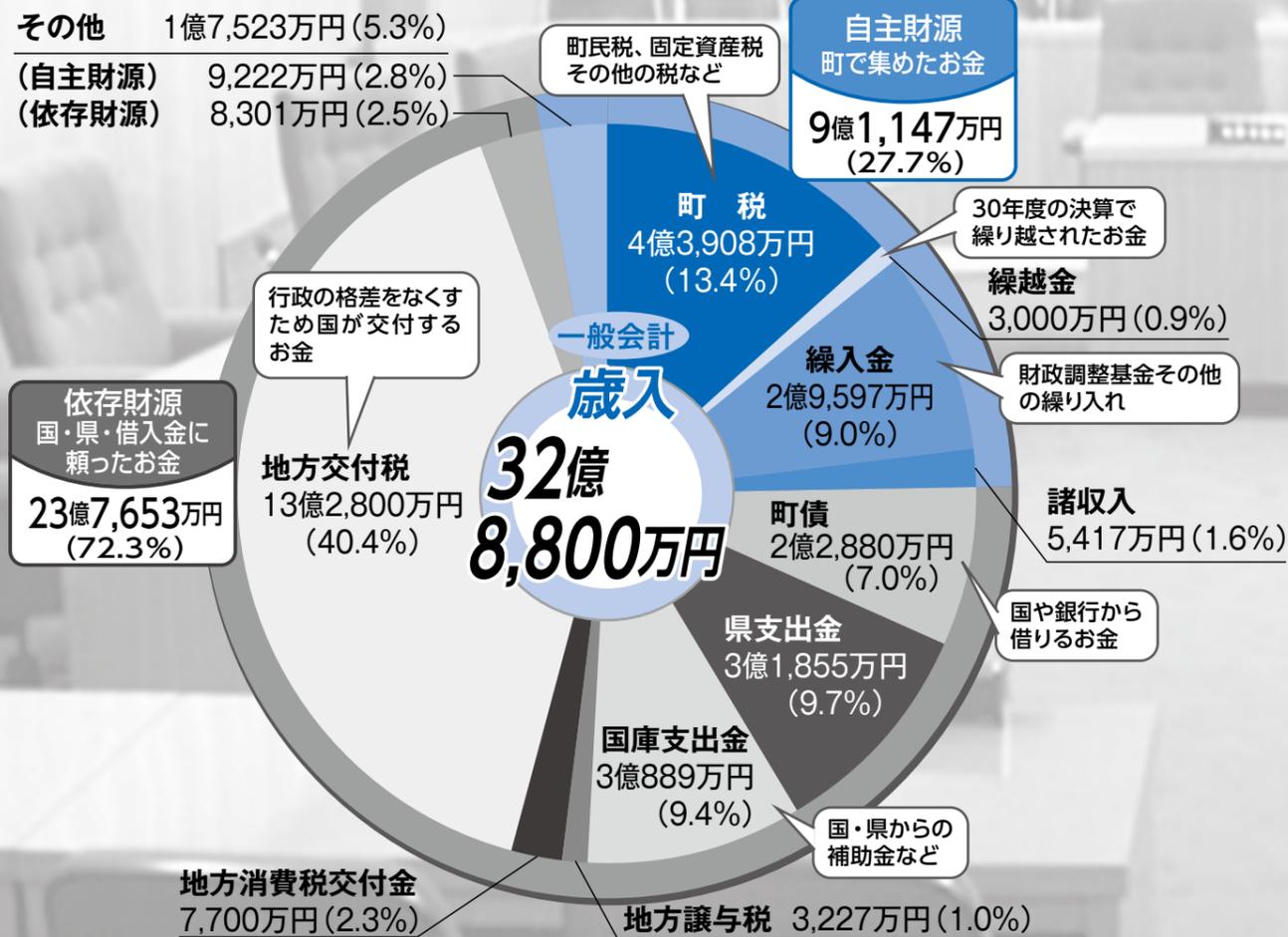
平成31年度当初予算	2
当初予算目玉事業	4
予算審査特別委員会	6
3月定例会	8
全員協議会	10
議会のうごき	11
デマンド交通視察報告	12
政務活動費報告	12
一般質問(5人が町政をたず)	13
中学生との意見交換会	19
みんなの声	20

議会だより
QRコード



真剣なまなざしで

時代の変化に即応し挑戦!! 幅広い層から選ばれる町へ



※千円未満切り捨てのため、合計と一致しません。

平成31年度当初予算合計は50億9,250万円
(前年度比 0.7% 3,610万円増)

一般会計 32億8,800万円 (前年度比 0.9% 2,800万円増)

特別会計 18億 450万円 (前年度比 0.5% 810万円増)

特別会計

会計名	平成31年度	対前年度増減額	増減率
国民健康保険事業	5億8,700万円	3,360万円	6.1%
介護保険事業	6億6,200万円	▲1,700万円	▲2.5%
後期高齢者医療	6,130万円	60万円	1.0%
簡易水道事業	1億7,780万円	160万円	0.9%
特定地域生活排水処理	1,140万円	▲210万円	▲15.6%
農業集落排水事業	1億1,210万円	▲1,900万円	▲14.5%
下水道事業	1億5,790万円	▲270万円	▲1.7%
住宅用地造成事業	3,500万円	1,310万円	59.8%
合計	18億 450万円	810万円	0.5%

(▲は減額)

「時代ニーズに対応した政策を展開」

時代の変化に即応し、さらなる挑戦に取り組む

「選ばれる町」として環境整備を進め、「真に必要な町民サービス」を目指す！！

新年度予算 **ピックアップ**

(松本ひがし団地から西越地域を望む)

移住・定住対策事業

地域おこし協力隊の導入……435万円 **新規**

地域外の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行ってもらい、その定住・定着を図ることで、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とするもの。

移住・定住ウェブサイト作成業務委託……261万円 **新規**

移住・定住の促進に向けホームページを整理して、移住定住者に情報を発信するサイトを構築し、併せて、空き家バンクも整理し、利用促進を図るもの。

福祉サービス事業

町障害者福祉タクシー・バス利用料助成…168万円 **拡充**

現行のタクシー券の交付をタクシー・バス共通券に拡充し、移動の機会と利便性の向上を図るもの。

町高齢者福祉タクシー・バス利用料助成…679万円 **拡充**

現行のタクシー券の交付をタクシー・バス共通券に拡充し、移動の機会と利便性の向上を図るもの。また、助成対象年齢を75歳以上から65歳以上に変更。

交通確保対策事業

町デマンド交通運行費補助……798万円 **新規**

町民の生活の足を確保し、高齢者の外出支援を促進することにより、町民の健康増進及び地域の活性化を図るため、「てまりん」の運行補助を行うもの。

空家等対策事業

町有空家等改修工事……412万円 **新規**

「海岸地区空家等再生まちづくり事業計画」におけるエリア整備事業。街なか多目的広場整備（尼瀬）、越後出雲崎歴史や改修（羽黒町）

空家等再生活用支援事業補助……430万円 **新規・継続**

空家等の対策を効果的・効率的に推進するため、空家等及び特定空家等の跡地の再生活用のために行う事業に対して補助金を交付するもの。

農地整備事業

県営中山間地域総合整備事業負担金(八手地区)…3,600万円 **継続**

県の実施する県営中山間地域総合整備事業（八手地区：田中、稲川、市野坪地内）のほ場整備にかかる、町・地元負担金。

予算審査特別委員会

平成31年度一般会計・8特別会計は予算審査特別委員会に付託して審議の結果、全会一致で可決しました。委員会での主な質疑内容を掲載します。

ここが聞きたい!!



高桑 佳子 委員長

地域・暮らし

地域おこし協力隊 体制支援業務委託料

181.5万円

中野議員・高橋議員 地域の協力も必要で、その経費の中で地域の取り組みも含めていくのか。タイムスケジュールはどうか。

総務課長 新年度1名を地域おこし協力隊員として採用するための募集業務の委託である。個別の折衝を含めて、最も適任となる方を募集するためのもの。地域の受け入れ体制等は活動費の中で考えていく。4月に募集業務を開始し、7月から活動できるように、6月中に詳細を決めていきたい。

デマンド交通 運行費補助金

798万円

三輪議員 運営会社に支払う補助金の算出はどのように計算するか。

総務課長 利用状況を想定した中で予算組みとなっている。タクシーを借り上げた時間に応じて支払う料金が国土交通省で定められている。それを積算して、運行にかかった経費から運賃収入を差し引いた額を補助金として支払う。状況に応じて、補正を組む事を考えている。毎月支払うが、人件費等経常的に掛かる経費には最低保障がある。

小黒議員 朝の現行の代替バスは廃止するのか。そうになると、代替バスの利用者については、どう対応するのか。早い便の時間を検討すべきではないか。

総務課長 代替バスは運行をかけるが、個々に調整をいただくよう考えている。当面はこの時間で運行するが、柔軟に対応したい。

防犯灯設置料

93.5万円

加藤議員 金額が昨年度より多くなっているが、状況の詳細についてどうか。

総務課長 中学校と協議し、通学路等の整備を進めたが、整備できなかった箇所を新年度予算に盛り込んでいる。さらに、集落からの要望も受け付けており、引き続き進めるので、例年より多くなっている。

斎場事務委託料

282.5万円

小黒議員 委託料の根拠と、老朽化のため、新しい斎場を建設する案はどのような進捗状況か。

町民課長 委託料は均等割と人口割りで按分される。新しい斎場の建設については、確認をしたばかりだが、和島地域で話を進めてはいるものの、建設時期等、詳細はまだ分からない。

町有空家等改修工事

412万円

中川議員 羽黒町高島邸の改修は既存の建物があり、どのようなプランか。前側だけを直して手戻りがないように考えるべきではないか。

総務課長 後側は損傷が進んでいて、改修が難しく、経費もかかる。全体の流れのなかで、前側だけでも手を加えて活用していく時期と考える。



改修予定の高島邸（羽黒町）

保健福祉

町高齢者福祉タクシー・
バス利用料助成
864万円

中川議員 バスで日赤まで
行けるようになり、65歳以
上に拡充され、これは、今
回の目玉だと思う。しか
し、予算が少ないと思うが
どういう根拠か。大変良い
施策であるのに、PRが足
りないのではないか。

保健福祉課長 65歳以上で免
許を持っていない方の状況
の把握が難しい。決算ペー
スで考えて見積もっている。
予想を上回る利用があ
れば、補正で対応したい。

観光

ふるさと就職支援
商品券利用助成金
864万円

小黒議員 町内ではこの商
品券の使える店舗が増えた
が、各店舗に使えるという

この表示がない。使える
ことの確認の他、町が若者
支援をしていることのPR
にもなるので、ステッカー
等の表示をすべき。

町民課長 店舗・使用者の
双方に通知をしているの
で、店舗に表示してはいな
いが、31年度、検討して表
示するようにしたい。

うまい米コンテスト
実行委員会負担金
10万円

加藤議員 出雲崎産米は一
等米比率が高い状態で毎年
きており、うまい評価も高
い。ここでもっと、PRに
経費をかけても良いのでは
ないか。

産業観光課長 負担金は、長
岡市と共同で実施経費の分
担金として計上している。
若手農業者の方たちに、う
まい米コンテストの上位入
賞を改めて依頼しており、
金賞米として売り出せるこ
とから反応も良く期待して
いる。

夕映えの丘敷地
借地料
31.9万円

三輪議員・加藤議員 利用がな
く、観光の目的になつてい
ない。景観が素晴らしく、
残すことも検討してもらい
たいが、借地は解消しても
らいたい。

産業観光課長 国の交付金を
使っており、返還の必要を
確認中である。必要がない
のではないかという声のな
かで検討してきたが、残す
のであれば、再度どのよう
な方向で進むかを見極めた
うえで、土地の状況をよく
調べて、31年度末を目的に
結論を出したい。

天領の里第1駐車場
トイレ改修工事
152.1万円

中川議員 第1駐車場トイ
レは作られたばかりだが、
どこかの改修か。第3駐車
場トイレの灯りは人感セン
サーだが、行くまでが暗い
ので外灯を付けるべき。

産業観光課長 道の駅ランキ
ングで高評価をもらってい
る。トイレのポイントが高
いので温水洗浄便座と手洗
いに温水器を設置して、さ
らにアップを目指したい。

第3駐車場トイレは外灯を
設置したい。

防災

津波避難路巡視員賃金
6.5万円

小黒議員 海岸地区と思
うが、どのような巡視を行
うか。

総務課長 草刈りや崩れて
いないか等の巡視を行う。
1回あたり4時間程度、年
20回程度を見込んでいます。

子育て・教育

仙海議員 教育相談支援
員・こころの相談員をはじめ
め、職員は不登校の生徒に
対してのケアをするが、生
徒一人一人に対して、日常
の接し方や言葉かけに問題
はないか。不登校を増やさ
ないために、教職員の指導
と体制を整えて欲しい。

教育長 不登校等の生徒は
それぞれ、様々な異なる
事情をかかえている。ま
た、最近の傾向として、人
間関係をうまく結べない子
どもたちが多く、よく言わ
れる「ちょっとしたからか
い」等を跳ね返すエネル
ギーがない。人の気持ちを
推し量ることも苦手であ
る。そういった背景を持ち
ながら、教職員は教える
という立場であるならば、人
の心を察する、さぐるとい
う面で学ぶことが重要と思
う。教職員・教育委員も含
めて考え対応していきたい。

ふるさと納税寄附金追加 1,750万円

県営中山間地域総合整備事業負担金追加(八手地区) 1,400万円

3月定例会で決まった補正予算

(▲は減額)

会計		補正額	補正後の予算額
一般会計(第6号)		▲ 851万円	33億5,627万円
特別会計	国民健康保険事業(第4号)	▲2,408万円	5億8,028万円
	介護保険事業(第4号)	▲ 48万円	6億8,015万円
	後期高齢者医療事業(第1号)	10万円	6,080万円
	簡易水道事業(第3号)	▲ 772万円	1億7,455万円
	農業集落排水事業(第3号)	▲ 124万円	1億2,288万円
	下水道事業(第3号)	▲ 174万円	1億5,906万円
	住宅用地造成事業(第2号)	▲ 195万円	2,285万円

一般会計補正予算(第6号)

主な歳入

- ・ 町民税減 ……▲109万円
- ・ 地方交付税追加 ……181万円
- ・ ふるさと納税寄附金追加 ……1,750万円
- ・ 県営中山間地域総合整備事業分担金 ……400万円

主な歳出

- ・ ふるさと出雲崎応援基金積立 ……1,750万円
- ・ 県営中山間地域総合整備事業負担金(八手地区) ……1,400万円
- ・ 地籍調査業務委託料減 ……▲178万円
- ・ 道路新設改良費 ……953万円

陳情(第2,3,4号すべて、不採択に決定)

議案第2号 「会計年度任用職員制度施行に伴う臨時・非常勤職員の地位・待遇改善を求める意見書」提出を要請する陳情書

議案第3号 長時間労働もハラスメントもない人間らしい働き方の実現を求める陳情

議案第4号 「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書

町の条例を改正する条例制定について(議案第9号～19号から主なもの)

議案第9号 ■出雲崎町空家等対策の推進に関する条例制定について
特別措置法のほか、空家等の適正な管理及び活用の促進に関し必要な事項を定めたもの

議案第15号 ■出雲崎町子ども・子育て会議条例制定について
子ども・子育て支援法の規定に基づき、出雲崎町子ども・子育て会議を置くもの

議案第16号 ■出雲崎町森林環境基金条例制定について
森林整備及び森林環境の保全に関する施策の実施に要する経費に充てるためのもの

ここが聞きたい!!

3月8日

補正予算質疑

主な質疑内容を掲載します。

マイナンバー給与連携システムリース契約解約金
60.2万円

【中川議員】5年契約であったものを、途中で解約し、新たな業者と契約する理由は何か。国の制度改正であれば補助があるのではないか。

【総務課長】新年度から「会計年度任用職員制度」が始まることとなり、現システムでは対応できないため。現在の業者が辞退され、公開プロポーザルの結果、最適な業者と新たに契約することになった。町で雇用する臨時職員がこれに該当するが、人件費に関しては補助は適用されない。

通学バス運行業務委託料減
▲254.9万円

【中川議員】大幅な減額だが、どのような理由によるものか。

【教育課長】今年度は出雲崎車庫がなくなったため、3コースから2コースとし、全ての日数で2便で予算を組んだが、実際には一斉下校があり、その分が減額となった。

町保育所通園バス運行事業補助金減
▲106万円

【三輪議員】大きな減額であるが、その理由は何か。
【こども未来室長】運転手の勤務時間および燃料費の減が主であるが、小木ノ城保育園については、年度当初、車両の入れ替えを見込んでいたが、そのまま利用したため減額となった。

町民野球場整備・修繕工事
167.2万円

【三輪議員】内野整備・ナイター照明について、それぞれどのような整備・修繕を行うか。

【教育課長】内野整備は1年おきに黒土の搬入、マウンド、ブルペンの整備も合わせて行う。ナイター照明は経年により切れているものもあり、今回、安定器とセットで交換する。

青年就農支援事業補助金減
▲150万円

【諸橋議員】1名分の減額と思うが、どのような理由か。
【産業観光課長】所得が増したため、補助の要件を満た

さなくなったもの。

環境保全型農業直接支払交付金減
▲237.8万円

【諸橋議員】どういった理由での減額補正か。
【産業観光課長】当初70ヘクタールで計画していたが、GAPの関係で要件が厳しくなり、実際に取り組んだのが18ヘクタールだったため。

陽だまり館指定管理料減
▲30万円

【高桑議員】指定管理料がどういった理由で減額となったか。妻入り会館の指定管理料とよく比較されるが、金額差があり、同じ観光施設としてすりあわせが必要ではないか。

【産業観光課長】夜間の使用があった場合、その都度支払うが、見込みより少なかったため、その分の人件費の減額。

【教育課長】妻入り会館の指定管理料は夜間使用の設定はない。

指定管理者の指定について

・井鼻地区コミュニティ消防センター	大字井鼻町内会	平成31年4月1日から10年
・藤巻地区コミュニティ消防センター	大字藤巻	平成31年4月1日から10年
・川東地区コミュニティ消防センター	川東町内会	平成31年4月1日から10年
・八手地区農村環境改善センター	八手地区農村環境改善センター協議会	平成31年4月1日から10年
・西越地区農村環境改善センター	西越地区農村環境改善センター協議会	平成31年4月1日から10年
・出雲崎町林産物等販売所	中越よつば森林組合	平成31年4月1日から5年
・休憩所心月輪	心月輪運営組合	平成31年4月1日から3年
・北国街道妻入り会館	妻入りの会	平成31年4月1日から2年

人
事
案
件

固定資産評価審査委員会委員の
選任に同意

山田廣行氏(沢田)
(平成31年3月22日から3年間)

全員協議会

主なものから抜粋して掲載しています

第1回 1月9日水

● 公の施設指定管理者の選定について

総務課長 八手地区・西越地区・両農村環境改善センター、出雲崎町林産物等販売所、休憩所心月輪、井鼻・藤巻・川東3地区でコミュニティ消防センターの指定期間が満了する。北国街道妻入り会館については指定期間中だが、指定を取り消し新たに選定する。実績のある団体については、10年間の指定管理期間としたい。

教育課長 妻入り会館の現在の管理者であるネットワークさぶらいは、31年3月末で指定期間が取り消しとなる。指定管理者選定委員会で指定管理予定者を「妻入りの会」とし、今後の指定管理

が、適正に行われるよう協議を進めたいと考える。

平成31年4月1日から2年間を指定管理期間としたい。

三輪議員 農村環境改善センターの指定期間が5年から10年間に延びた。10年間契約した定額でいくのか。

総務課長 毎年、適切な額を見直して、年度協定を締結する。10年間同額ということではない。

● デマンド交通の事業概要について

総務課長 名称は、出雲崎町デマンド交通で、全世帯に配布をするアンケート結果と合わせ、愛称の募集もしたい。

運行開始は平成31年4月1日からで、実施区域は出雲崎町全域を考えている。



デマンドタクシー

運行日は、12月31日から1月3日までの年末年始を除く毎日、日曜日も運行する。

運行時間は、朝8時から午後6時までの10便とし、午後1時便は運行しない。

今回有会社出雲崎交通を運行事業者として、進めさせていたいただきたい。

中川議員 地域公共交通対策特別委員会で色々な所へ研修に行き、円滑な運行のために、オペレーターが重要だと感じた。当町では、どういった対応をとるのか。

総務課長 通常業務の他にデマンド交通用の運転手を1人確保する。

オペレーターについても、現在の従業員と別に、3名程度を募集し、ローテーションを組んで対応する予定である。事業開始前に集中的に研修をする。

● 海岸地区空き家等再生まちづくり事業について

総務課長 空き家等再生計画の一環として町が持っている空き家と空き地を率先して有効活用していきこうということ、当面の利用計画を策定したものである。

小島議員 32年度実施予定となっているが、オリンピック等々もあり、当町の観光人口増大に向けて、観光マップやチャレンジショップは前倒しで事業をできないか。

産業観光課長 街なか天領3軒横丁整備事業については、前向きに検討していきたい。



街なか天領3軒横丁整備事業予定地

第2回 2月20日(水)

●出雲崎町デマンド交通の愛称と試運転等について

総務課長 愛称については、

66件の応募があり「てまりん」に決定した。良寛さんに縁のある、てまりのイメージで町内をクルクル回って行くように実施したい。

試験運転の実施を3月6日と3月14日の2回実施する。

三輪議員・中川議員 町民に対しての説明会をしっかりと実施するべきだ。

またオペレーターの研修などは実施しているのか。

総務課長 説明会を地域・各種団体・老人クラブ等の集会

に行つて説明会を行う。

試験運転を希望される方からアンケートをお願いする。

町の職員・出雲崎交通で燕市で研修してきたので参考にしたい。

●木造船漂着について

総務課長 1月16日に勝負の

沖合80mに木造船が漂着、1月25日に処分を実施する旨連絡があった。

加藤議員・高橋議員 沖合80mの

木造船の漂着であつても、町民に対して防災無線で注意喚起をしてもらいたい。

●物件の寄附について

総務課長 尼瀬の旧内藤医院

様から、町へ土地と建物(6棟)の寄附があつた。今後は大学生の当町での活動やイベント等に有効利用をさせてもらう予定である。

●公募施設の指定管理者について

産業観光課長 3月末で指定管

理期間が満了する公の施設心月輪について、運営組合の松永氏より申請があり、事業者に関する書類、事業計画書、

収支計画書の提出がされた。申請者から聞き取り調査を行い、公の施設指定管理者選定委員会で審査を行う。

●出雲崎町の地域ブランド米の方向性について

産業観光課長 現在は「汐風

米」として、平成32年まで商標登録済である。今後、新たなブランド米の検討会を立ち上げ、方向性を決定していく。

●福祉タクシー利用料金の助成拡充について

保健福祉課長 現行のタクシー

券をタクシー・バス共通券にすることで、公共交通の利用者の増加を図る。タクシー・バス共通券が利用できる区間は出雲崎車庫から長岡駅前区間までとなる。

助成対象者の年齢を75歳以上から65歳以上に変更することで、多数の方から利用してほしい。

第3回 3月15日(金)

●平成31年度地方税制改正に伴う条例の一部改正について

町民課長 所得税の住宅ロー

ン控除の改正により延長される控除期間において、所得税額から控除しきれない額を控除限度額内で個人住民税額から控除するもの。

町民課長 ふるさと納税によ

る特別控除の対象となる自治体を、総務大臣が指定する。指定基準は募集を適正に実施し、返礼品の返礼割合を3割以下、また、地場産品とすることが挙げられている。



議会のつばき(主なもの)

平成31年1月～3月

1・7	議長会議(新潟市)
8	議会報特別委員会(議会だより第102号)
9	全員協議会
9	議会報特別委員会(議会だより第102号)
15	地域公共交通対策特別委員会視察(刈羽村) ↓詳細はp12
14	議会運営委員会
2・4	地域公共交通対策特別委員会視察(津南町) ↓詳細はp12
20	全員協議会
28	議会運営委員会
3・8	3月定例会招集日 ↓詳細はp8
11	議会報特別委員会(議会だより第103号)
11	社会産業常任委員会
12	総務文教常任委員会
13	定例会2日目(一般質問)
15	予算審査特別委員会
15	議会運営委員会
23	定例会最終日
26	全員協議会
23	東京出雲崎会総会(東京)
23	議会報特別委員会(議会だより第103号)



愛されるてまりんに

デマンド交通視察報告

地域公共交通対策特別委員長 高橋 速円

31年度から出雲崎町に導入されるデマンド交通について、町議会では「地域公共交通対策特別委員会」を昨年秋に設置し、調査等諸準備をすすめてきました。

デマンド交通といってもいろいろな形があります。当町では予約制乗合いタクシーを採りましたが、近隣先進地を視察し、調査・研究いたしました。

◆内容◆

刈羽村では、コミュニティバスを平成24年度から運行開始してきました。なぜこの形を採用したのか、その導入経緯や現在までの経過、そして運行地域、運行形態、運行日数、平均乗車人数などを尋ねました。また今後の問題点等細部まで伺いました。また議員全員PLANT5から村役場までぴーちゃんに乗車しました。住民アンケートでは、スクールバスとの統合案が検討されているということで、今後の参考になりました。

刈羽村 1/30



2/14

津南町

◆内容◆

当町と同じ予約型乗合いタクシーで、ドアからドアという形を平成21年度から運行しています。当町からは議員全員と副町長、地域公共交通検討委員6人、担当課2人も参加しました。

デマンドタクシー導入の経緯、地域の特殊性、運行形態、運賃体系、乗車人数、そして財政上の問題点など細部にわたり質疑を行いました。住民になじみのない制度を導入するには、十分な説明をする必要があると感じました。



平成30年度 政務活動費報告

(単位：円)

議員氏名	交付額	支出内訳				合計	返納金
		調査研究費	研修費	資料購入費	事務費		
仙海 直樹	60,000	33,047		67,992	600	101,639	0
諸橋 和史	60,000	33,047		31,476	1,350	65,873	0
小黒 博泰	60,000	33,047		9,024	750	42,821	17,179
中川 正弘	60,000	33,047		45,432		78,479	0
中野 勝正	60,000	33,047		26,466	1,677	61,190	0
高橋 速円	60,000	33,047		48,000	750	81,797	0
高桑 佳子	60,000	33,047	3,000	17,424	7,539	61,010	0
加藤 修三	60,000	33,047		30,024	1,350	64,421	0
三輪 正	60,000	33,047		48,000		81,047	0
安達 一雄	60,000	33,047		17,424	8,013	58,484	1,516

※月額5,000円×30年度活動月数(12カ月)で交付

一般質問

町政を問う

5名の議員が質問

1



加藤 修三 議員

質問項目

- ・ 児童虐待について

2



高橋 速円 議員

質問項目

- ・ 三つの提案

3



小黒 博泰 議員

質問項目

- ・ スクールバスについて

4



三輪 正 議員

質問項目

1. 消防団の組織再編について
2. 住宅用火災報知器の設置について

5



高桑 佳子 議員

質問項目

1. シルバー人材センター設立について
2. 児童クラブの運営について

3月12日の一般質問にて、婦人会の皆さんをはじめ多くの方から傍聴していただきました。



児童虐待について



加藤 修三 議員

教育長

虐待防止に万全を期す

児童虐待は年々増加し、虐待で亡くなる痛ましい事件が後を絶たない。痛ましい児童虐待の根絶を目指し当町の対応について

虐待の早期発見の前兆情報と確認

加藤 最近の虐待は、冷水を掛けたり食事を与えない、傷やあざが表から見えない様などころを叩いたりと見た目ではわかりにくく陰湿になっているが、虐待を早期発見するための前兆情報の入手と確認はどのようにしているか伺う。

教育長 情報については身内からや近隣住民の通報、保育園学校などで身体検査時のあざや傷の発見、急に元気がなくなつたなどいろいろな場面で情報を得た後、早急に担当部署の子ども未来室が

情報確認をするが、虐待は閉鎖された中で起き情報入手が困難だが、アンテナをより高くし情報入手と迅速な対応に努めている。

嘘や虐待を見抜く体制

加藤 家庭訪問では親から暴力なんかされてないと嘘の強要や実家行っていない、個人ことには関わるなど拒否されることもあると思いますが、長期欠席者の把握や虐待を見抜く体制は取れているか伺う。

教育長 本町においては長期欠席、虐待は確認されていないが、家庭との連絡を密にし、生活態度などスクールカウンセラーや専門の方を含め複合的に見ている。

情報の漏洩防止や守秘の徹底

加藤 アンケート調査や子供からの相談で秘密は守りまと言われ、信用して正直に話した情報が洩れ拡散し、悲惨な結果を招いた事件があったが、漏洩防止守秘の徹底はどのような対策をとっているか伺う。

教育長 虐待を含め情報は絶対漏洩してはならず、公開が必要な時は公的な機関のみであり、個人情報を持ち出しも含めさらに徹底するよう指示し万全を期している。

保護者の威圧的態度に屈してはならないために

加藤 威圧的態度で喝や脅しに怯え、情報などを要求され悲惨なことが起きないように、威圧的言動に屈しない対応はどのようににされているか伺う。

教育長 毅然とした態度で対応するため、複数での対応、弁護士や警察など関係機関と連絡をとりあつて対処する。





高橋 速円 議員

喫緊の三つの提案

町長

町それぞれ意はあるがハードルもある

平成最後の出雲崎を映像・写真で残せ！特に平成の町民の笑顔を残せ！

高橋 平成時代最後の4月の出雲崎の各集落、街並みなどを映像などで残すべきだ。やる気があればできるのではないか。

それに付け加えて、みんなを元気にするのは笑顔だと思っている。平成最後の4月の町民の笑顔をいっぱい並べて元気にできないか。

重要性は認識している

町長 その重要性はわかっている。広報や記念誌で網羅している。

紙とデータで保存しており、今後どういう形でまとめるか検討する。

町観光協会を早急に法人化すべきだ！

高橋 観光協会の法人化を提言する。町職員はイベントのための職員で

はない。ともすると業者に丸投げのような印象を受けるイベントがあるのではないか。独自性ある内容でないとい投資効果がない。

このことが簡単ではないことは理解している。スタッフひとつとつても時間がかかる。しかしやるしかないのではないか。

将来的には前向きに検討すべきだが、厳しい

町長 県内の法人化の現状は18の観光協会が法人化している。

当町ではまず会員の意識が問題だ。法人化へのステップとして、業務内容を検討し、独立性を強めないといけない。次に事務局体制の確立、専従職員の確保。財政的裏付けの必要性が要る。いま観光協会は8割が町補助金だ。法人化のためには自主財源の比率を高める必要がある。会費や出資金の検討をしなければならない。ハードルは高い。

次世代を担う小中学生の街づくり提言を活かせ！

高橋 小中学生の町への問題意識を育む施策をすべきだ。鋭い提言は斬新で、それを評価する手立て、方策はないか。

いろいろな意見を盛込んでやる

町長 総合計画には多岐にわたるご意見を踏まえて進めている。



中学生との意見交換会

中学校スクールバスについて



小黒 博泰 議員

町長

早急に検討を実施する

スクールバス運行の考え

体力・忍耐力を養う

小黒 現在、小学校においてはスクールバスの運行が行われている。中学生の保護者からは、通学時の安全面などを考え、中学校にもスクールバスの運行は出来ないのかとの、要望がある。今後、通学時の安全対策として、中学校のスクールバス運行の考えを伺う。

町長 質問の趣旨は、中学生の通学時の安全・安心確保や、通学途中における犯罪防止関係、遠距離の方が苦労しているという事で、提言されていると思う。

平成17年の議会でも質問を受け、「中学生なのだから体力練磨、精神面での忍耐力など、多少の苦労も将来につながるのではないか」と、中学生は歩いて通学してもらいたい」と答弁した。しかし、時代は大きく変わり、答弁した時より、子ども達の精神面や環境なども大きく変わってきた。

ているので、こういった提言を受けているわけである。

今後、この問題については、十分に地域や学校、保護者と打ち合わせをしながら、この問題の方向付けをして行きたいと思う。

また、導入にあたっては、総合的な交通体系の整合性を図って行かないと、単独でスクールバスを運行すると、経費や人の確保など、いろいろな問題があるので、今後、小学生の通学途上における、スクールバスの同乗は考えられないか、4月から始まるデマンド交通の体系の中でこの問題は集約されるかどうか、今後十分検討しながらスクールバスについては協議を進めながら結論を出して行きたい考えである。

中学生の体力向上への考えは

時代も考えも変わった

小黒 「中学生なので歩いて体力向上を」と言うが、中学生の通学を保

護者が送迎しているのが、現実である。現状と体力づくりも含め考えを伺う。

町長 自分の体験を通して、歩く事は良い。しかし、現在の子どもは学業・部活といろんな課題があり、時間的余裕が必要になってきている。時代も変わり、以前答弁した事は通用しないと思う。今後、保護者などの意見を聞きながら、現在の交通体系の中で方法を検討する。「通学バスを導入しません」と、言い切った時代と変わっている。皆さんの意見を聞き、前向きに検討したい。



小学校スクールバス

いつ、検討に入るのか

早急に検討を実施する

小黒 前向きに検討すると答弁があつたが、具体的な時期はいつになるのか。現実的にスクールバスの早期運行を要望されている方もおり、中学3年間は短いので、近々に検討願いたい。

町長 小学校スクールバスやデマンド交通との係わり合いなど、いろいろな問題をどう集約できるか担当課で検討し、保護者とも打合せをしながら、可能な限り実現を図るよう検討し、進めていきたい。

小黒 答弁からすると、早急に検討に入っていたら、理解しているか。

町長 早急に検討に入るの、理解願いたい。

小黒 現時点で、中学校のスクールバス運行を求めている方もいるので、早期運行に向け早急に検討願いたい。



三輪 正 議員

消防団の再編を急ぐべき

町長

消防団幹部と町で検討する

大きい団員割当格差

三輪 消防団の地区割りには、著しく戸数・人口の格差が大きい。特に八手地区は消防車一台を80戸で維持しているが、多い地区は倍の戸数となっている。欠員対策として、手当等を支給するため、集落の財政負担が重くなっている。団員割り当ての平均化を進めるべきと考えるが、町の考えを伺う。

町長 厳しいお話をお聞きした。消防団の再編については、団幹部、町で充分検討をする。

特別団員制度の活用を

三輪 特別団員（機能別消防団員）の活用と団員の欠員状況はどうなっているか。

町長 定員170名、欠員は5名。特別団員は各分団3名まで可能で全体で6名である。

三輪 特別団員を各分団の状況によって柔軟に運用すべきと考えるが。

町長 規則を変更して、弾力的に考える。

住宅用火災報知器の全世帯設置を

三輪 住宅火災時に近年死亡者が多い。当町は平成25年に「設置率が県内ワースト1」であったが、現在の設置状況と町営住宅、民間アパート等への設置勧奨を行っているか伺う。

町長 設置率は平成30年6月で92%、県全体では67%である。町営住宅は全て設置済みであり、アパート等は毎年、消防署が勧奨している。

高齢者等世帯設置に支援を

三輪 高齢者や障がい者世帯の設置が急務である。以前に町の助成が行われたが、再び実施を考えるべきではないか。また群馬県富岡市の消防署では高齢者世帯の取付支援を行っている。当町でも消防署に依頼してほしい。

町長 助成は考えていないが、取付支援は消防署にお願いする。

連動式警報器の設置の推進を

三輪 警報器の全世帯設置と、連動式警報器を検討してもらいたい。



大型防火水槽（60t）羽黒町

シルバー人材センターの 設立について



高桑 佳子 議員

町長

必要性は総合的に判断して 検討する

【町長】 高齢化が進み、定年延長や継続雇用の義務化等の社会的背景により、シルバー人材センターも新規入会者数の減少が課題と聞いている。センターは公益社団法人

【高桑】 出雲崎町では、NPO法人ねつとわーくさぶらいははじめ、日赤奉仕団や婦人会、老人クラブ、給食ボランティアなど、多くの有償無償のボランティア団体が活動している。町の人口減少傾向は止まらず、空き家や空き地が増えた、耕作できない田畑が増えたという声が、いたるところで聞かれる。しかし、誰かが少し手助けをしてくれたらまだがんばれるという高齢者も、まだまだ多くおられる。高齢者を地域で支えていく取り組みもあるが、支える側の高齢化はそれを阻み、喫緊の課題であると考える。行政としてシルバー人材センターを立ち上げてはどうか、町長の考えを伺う。

【町長】 今後のセンターの必要性については、団体の活動状況や町民のニーズを捉え、メリットデメリットを判断しながら検討して行く必要があると考えている。

【高桑】 ねつとわーくさぶらいがシルバー人材センターに近い活動をしているが、設立から10年以上が経過して組織も大きくなり、事務・総務の仕事量も膨らみ、ボランティアだけで行っていくには限界があり、団体自体が困っている。数多く指摘されている地域の困りごとは行政の困りごとでもある。単独、あるいは長岡市との地域組織でも良いと考えるかどうか。

として、会員である高齢者から運営していただく事になる。当町ではねつとわーくさぶらいははじめ、8団体が目的に沿って活動しており、高齢者の人材不足は承知しているが、早急に設立することは考えていない。

児童クラブの 運営について

【高桑】 児童クラブは働く子育て世代にとって、無くてはならない大切な日常の支援制度である。平成31年4月入学の新一年生の申込みも多く、早急に改善が必要な課題もある。クラブ室は手狭で、小学校の空き教室を活用する案が検討されているとの事だが、どのように進めているのか。また、子どもたちの日常活動ではトラブルも起こるが、どう防ぐかと同じ時にどう対応するかが重要である。子どもたちの安全安心を護りつつ「遊びを通して発達を支援する」ということは簡単なことではない。指導員の資質向上、人数確保に加え、インカムなど、情報伝達に有効な手段を検討する必要がある。

【教育課長】 年々ニーズが増えており、抱えている問題も多くあると承知している。人数が増えた分、校舎棟の空き教室を利用する予定でいる。指導員の負担が少ないように考える。また、指導員のスキルアップのため、昨年度の2倍の研修予算を組んでおり、外部講師も招く予定でいる。支援員同士の情報共有、伝達の手段はインカムも含めて検討する。新年度は放課後総合子どもプランを立ち上げて、今後の児童クラブのあり方を検討して行く。



町議会に町政への鋭い質問

～3月18日 中学生との意見交換会にて～

飯田 幸奈さん
人口増加を目的として「ひまわりハウス」を建てましたが、その効果はありましたか。

議会 大門に1棟、川西に2棟あり、合計20世帯が入居可能です。町外から15世帯が入居し、中学生以下の方が30人増加し、子育て世代の交流も生まれて、人口増加の目的を果たしていますが、実際には人口が減少しています。4月からは松本みなみ団地に続き、ひがし団地の20区画も分譲予定で、今後の人口増加や流出を止める対策に考えています。

仙海 和華さん
サザエの炊込みご飯は、新聞掲載をして反響があったと聞きました。今後よりメディアを通して町をPRしたらどうでしょうか。

議会 サザエの炊込みご飯は、商工会が試験製造し、小中学校給食に提供した様子が、テレビで放映されました。天領の里で試験的に販売したものは、新聞報道後、3日間で完売し、新聞掲載の力は大きいと改めて感じました。マスメディア広告宣伝事業として、50万円の予算をつけてPRを行っています。記事等で取り上げてもらうのが一番効果的だと思います。今後も積極的に、メディアを活用し、町をPRしていきたいと思っています。

佐藤 悠斗さん
狭い道路の道幅を拡大してほしい。また、道路のガードレールが切れているので、直してほしい。

議会 通行量の多い幹線道路や施設に通じる道路を優先して拡張工事を行っています。また、交通安全事業として、歩道スペースを付け加える工事も実施しています。交通量や危険度に応じて工事するため、狭い道路のすべてを拡張できるものではありませんが、パトロールして検討します。ガードレール等の防護策は、破損している箇所は、町で修繕していますが、見落とししてしまう場合もあるので、町に情報提供をお願いします。

小川 桂司さん
高齢化と人口減少が進むが、商業施設や公共施設を増やしたり、SNSやふるさと納税でPRをしたり、町のテーマソングやインスタ映えスポットを作るとはどうか。

議会 全国各地で抱えている問題で、その中で町は「選ばれる町」になり、生き残るしかないのです。そのために「独自性」が求められ、情報発信するには「魅力」が無いといけません。町では空き家を活用した歴史文化コミュニケーション空間の整備、天領の里を拠点に周遊できる賑わい創出事業計画を進めています。今は誰でも情報発信できる時代であり、その環境整備が大事です。テーマソングはこれからの課題ですが、観光資源を掘り起こし、各方面とタイアップして魅力度をアップしたいと思います。

佐藤 李利有さん
昨年きらりが開設しましたが、小中学生が入りづらいので、小中学生が遊べる施設や公園など増やしてほしいです。

議会 新しい施設や公園については、将来にわたって、維持管理にお金がかかるので、メリットとデメリットを慎重に考えていかないといいけません。フリースペースは、中学生にも送迎を待つ間に利用してもらいたいと考えてきたスペースです。中学生がイベントに参加して、小さいお子さんと一緒に遊んだりすることは、多世代交流館きらりが本来望んでいる姿の一つだと思います。きらりを利用すると、その先も後輩が後に続いてくれると思います。

諸橋 大生さん
空き家をそのままにせず、何か対策はありますか。妻入り通りは空き家が多く、整備されていない気がします。和島村のはずば通りのように整備して、観光名所としてPRできると考えます。

議会 所有者に管理してもらう為、実態調査を行い、地域座談会を開いて現状について説明をして問題意識を持ってもらいます。空き家情報バンクに登録して情報発信したり、支援補助制度を設けて積極的な利用推進をしています。また、海岸地区は観光周遊・町屋再生・賑わい活性エリアの整備計画を考えています。休憩所の整備や長屋風チャレンジショップの設置、短期移住者住宅の整備など検討しています。

吉田 優子さん
海岸や通学路にゴミが落ちていて汚い場所があります。通学路に誰でも使えるゴミ箱を設置して週1回、回収するような対策はありますか。

議会 自動車のホイ捨てと考えられますが、現行犯でない、誰が不法投棄したのか、見つけ出すのは困難です。町でのクリーン作戦やボランティア団体による環境保全に向けたマナー啓発で改善に努めています。観光施設や通学路等へのゴミ箱設置について、通学の支障が出たり、除雪の際破損につながるため、不法投棄をする者の行動を考えると、効果的ではないと思います。今後環境モラルの向上に努めますので、ご協力をお願いします。

高橋 美海さん
長岡方面に向かうバスの便を増やすことはできませんか。

議会 平日は医者や通勤でバスの利用がありますが、土日は利用者が少なくなるため、平日運行より1便運休となっているのが現状です。町からの利用者が減少しているため、増便は難しいとのことですが、便がこれ以上減らない様要望しますが、できるだけ多くの方からバスを利用してもらいたいと思います。

関川 健太さん
今年は少雪でしたが、昨年のように大雪になると、除雪後も、道がデコボコしています。歩道が除雪されていない箇所もあり、登下校時歩きづらいので、対策を考えてほしいです。

議会 昨年は大雪で通学等苦労されたかと思いますが、国道、県道の管理は、国土交通省、新潟県と板橋維持管理事務所が行います。町道に関しては一部しか歩道がありません。国県道に関しては、町建設課から板橋維持管理事務所に要望を上げていきます。また町道に関しては、道路新設改良を行ったり、小型除雪車2台の導入も計画されています。少しは皆さんの心配も軽減されると思います。

若山 雅さん
観光大使のジェロさんが引退したが、町を知ってもらう為に、新たな観光大使を考えたり、新しいイベントを行う計画はありますか。

議会 新しい観光大使は考えていません。ジェロさんのご厚意で就任いただきました。全国各地に広くPRしていただき、ました。また、新しいイベントは行わず、現在行われているイベントを見直ししたり、拡充したりして観光客の増加につなげていきます。現在、多くの外国人観光客も訪れています。外国の方からも来ていただけるイベントも検討したいと考えます。



満

員電車で都内まで通勤した42年間の会社生活を終え、65歳までの引留もありましたが、妻の母が一人暮らす出雲崎町に引越して来ました。

町内では、高齢の方が多く、普段の生活の中何かと困っていることも多いのではと思われまして。何か役に立ちたいなと思っているところへ「ねっとわーくさぶら」という団体がある

のことで、応募してみたら、ラッキーなことに、空きがあり入ることができました。

夏場の草刈り、機械を使うのは初めてで、「まま」の斜面は上手く刈れず、大汗を掻きました。お庭の生垣の取替では「男結び」が出来ず、ここでも先輩に迷惑をお掛けしました。

また昨年の大雪では、毎日続いた除雪作業や町からの依頼で、各林道の倒木の整理など、慣れない作業で非常に体に耐えましたが、皆で力を合わせ終了することができました。

このような日々で、4年目になりましたが、町議会をはじめ地域の方・町役場の方々の笑顔や感謝や励ましが、背中を押してくれているのだと思います。

会社生活では全く考えられない、このような貴重な経験をこれからも続けて行きたいと思えます。

みんなの声

出雲崎町に移り住んで

駅前

安藤 直之



表紙の小話



議場でグループ討議

3月18日、中学生との意見交換会が行われました。

事前に学校で、KPT方式を用いて出雲崎町の「良いところ」「課題」「挑戦してみたいこと」を各グループで話し合っており、議場で議員を交えてさらに議論を深めました。限られた中でしたがもつと話をしていた楽しい時間でした。

また、代表の生徒さんたちが、町への意見や提案について議員席から質問し、議員が執行部席で答弁をしました。

議場で見る制服姿の中学生は、はつらつとしていて初々しく、真つ直ぐに素直な思いを語ります。その姿に触れて議員も初心に返らせてもらいました。その想いのまま、出雲崎を愛する若者になって欲しいと願っています。

(高桑佳子)

編集後記

暖冬少雪で、春を迎える事ができ、安堵しております。私達も議会だよりを担当して3年目となりました。平成最後の議会だよりに気持ちを込め行政と議会の流れを分かり易く興味を持って読んでいただけるように、毎回精進をしてみたいです。これからも町民各位から、多くの叱咤激励を、お願い申し上げます。

(安達一雄)



議会報特別委員会

委員長 高桑佳子
副委員長 小黒博泰
委員 安達一雄
委員 中野勝正

議会だより発行予定 発行は年4回。発行日は4月23日・7月18日・10月23日・1月23日です。 議会の傍聴にぜひおいでください。